

令和 6 年度 家庭・地域と連携したよりよい学校づくりアンケート調査の報告

厳寒の候、皆様方にはますますご健勝のことと拝察いたします。日頃から学校運営につきましてご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。児童アンケート、保護者アンケート、学校関係者アンケートの集計ができましたので、ご報告いたします。

これらの結果と皆様からお寄せいただいたご意見を真摯に受け止め、これからの学校運営や学級づくりに生かしてまいりたいと存じます。今後ともよろしくお願いいたします。

1 児童アンケートの結果 ※数字は% 肯定評価（「はい」・「だいたい思う」の合計）

	質 問	R4	R5	R6
1	学校に来るのが楽しいですか。	8 9	8 7	82
2	授業の内容が よくわかりますか。	9 2	8 9	88
3	授業でわからないことがあったとき、先生や友だちに聞くことができますか。	9 2	9 0	84
4	授業やグループ活動、学級会などで、自分の考えたことを発言・発表することができますか。	7 7	8 3	74
5	授業やグループ活動、学級会などで、友だちの発言・発表をしっかりと聞くことができますか。	9 8	9 7	92
6	先生や友だちや地域の人に、元気にあいさつをしていますか。	9 3	9 5	89
7	友だちを大切にしていますか。	9 9	9 8	96
8	友だちから大切にされていると思いますか。	8 6	9 1	81
9	学校のきまりを守っていますか。	9 2	9 3	93
10	困ったことがあったときに、先生や友だちに相談できますか。	8 6	8 8	83
11	運動会（や音楽会）ではめあてをもって楽しく取り組むことができましたか。	9 4	9 2	90
12	一生懸命そうじに取り組んでいますか。	9 3	9 4	95
13	体育の授業や休み時間には、体を動かす活動に自分から取り組んでいますか。	8 3	9 3	83
14	休み時間や高丘タイムなどで、ちがう学年の友だちと楽しく遊ぶことができますか。	9 0	9 0	86
15	学校以外の場所へ行ったり、地域の方と関わったりしながら、楽しく学習できましたか。	9 3	9 2	89

アンケート回答結果から

- ・「質問 1」学校に来ることを楽しみに思っている児童の割合が下がっています。「どちらでもない・あまり思わない・全く思わない」児童が約 2 割いることを受け止め、子ども達の困り感に細やかに寄り添い一人ひとりが活躍できる場を取り入れたり、学級活動を工夫したりして、みんなが楽しく、安心感をもって登校できるように環境づくりに努めます。
- ・「質問 3・4」わからないことを、先生や友だちに聞くこと、自分の考えを発表することの割合が下がっています。授業はペアやグループでの「学び合い」を行っています。学習問題を明確にし、友と対話しながら学ぶ授業づくりをより一層大事にしていきます。授業が充実することにより、「質問 1・2・5」の改善にも繋がると考えます。
- ・「質問 6」元気に挨拶している割合は下がりましたが、児童会では挨拶をよくしようと、毎朝、代表委員会の子が昇降口に立ち、登校してきた友だちに元気に挨拶をしています。また元気に返し合う姿もたくさん見られます。他校の先生や、お客さんが来校され、廊下などですれ違う時に、「こんにちは。」とし

っかり挨拶できる子が多いです。一方で昨年同様、他学年の児童や教職員、地域の方への挨拶については個人差が大きいのと思います。まずは職員から、そして高学年から低学年へと挨拶の輪を広げていきたいと考えます。

- ・「質問 7」友達を大切にしている児童、「質問 8」友だちから大切にされていると感じている児童の割合の差が大きくなりました。人権教育月間（なかよし月間）では、「自分の大切さと共に友だちの大切さを認められる心（＝共に生きる心）」を培うことをねらいに活動に取り組んでいます。その期間だけのものにならないよう、また特定の友だちだけでなく、だれもが大切にされ、自尊感情を高めていけるように、日々の生活の中で人間関係づくりに努めていきます。
- ・「質問 9」学校のきまりを守る、「質問 12」一生懸命そうじをするは、割合が高いです。きまりや清掃がある意味を考え合い、みんなでよくしようとする気持ちが育っています。引き続き、みんなが気持ちよく生活できる児童の育成に努めていきます。
- ・「質問 10」困ったときに先生や友だちに相談することができる割合がやや下がっています。これまで、担任だけではなく、スクールカウンセラーとの連携を大事にし、全職員で児童の情報を共有しています。相談できていない児童がいることを改めて受け止め、一人一人と懇談する時間をもったり、保健室に配置されている「心と体の相談室」の養護教諭にいつでも相談できること、周りの先生を含めだれにでも相談してよいことを周知したりして相談しやすい環境づくりに努めます。また、子どもたちから相談事があった時は、しっかり話しを受けとめて、じっくり耳をかたむける姿勢を大事にしています。
- ・「質問 11」めあてをもって、運動会や音楽会等の行事に楽しく取り組めた割合はやや下がりましたが、多くの児童がめあてをもって活動し、振り返りをする中で自身の頑張りを実感することができていると考えます。運動会では、入場の仕方や、表現の工夫など、児童が考えたことを元に取り組んだことも成果に繋がっていると感じます。今後も児童が主体となる活動を取り入れていきます。
- ・「質問 12」うでまくりをして掃除に取り組む子、時間いっぱい汚れを落としている子、掃除を目標にがんばっている子、なかよし清掃で協力している子等、主体的に取り組める子が多いです。
- ・「質問 13」体を動かす活動に自ら取り組んでいる割合が下がりました。休み時間は、友だちとおしゃべりをしたり、絵を描いたり、ピアノを弾いたりして楽しんでいる子もいます。なかなか自ら体を動かすことが難しい子も、高丘タイムや体育集会、姉妹学級交流等では、楽しく体を動かして遊んでいる姿が見られます。児童の主体性を大事にしながらも、天気の良い日は、外に出て積極的に体を動かして遊ぶことを呼びかけていきます。
- ・「質問 15」地域学習を楽しむ割合がやや下がりましたが、各学年に応じて地域探検や社会見学、保育園や福祉施設との交流、地域講師によるリンゴ栽培やクラブ活動等取り組んできました。地域ボランティアの方に学習活動に参加していただくこともできました。今後も、地域の中で行うことのできる活動を探り、地域（の方）から学ぼうとする姿勢を大事にしていきたいと思います。

2 保護者アンケートの結果

※数字は％ 肯定評価（「とても思う」・「思う」）

	質 問	R4	R5	R6
1	学校は、子どもたちが楽しく学んだり、活動したりしている場になっていると思いますか。	9 2	8 9	84
2	お子さんの話や授業参観などから、学校は学び合いを柱にした授業を進めていると思いますか。	8 1	8 6	78
3	学校や家庭、地域において子どもたちは元気にあいさつをしていると思いますか。	5 5	6 4	59
4	学校は、仲良く、協力しあえる集団づくりに取り組んでいると思いますか。	8 8	8 3	75
5	学校へは、相談したり、考えを伝えたりしやすいと思いますか。	7 6	6 6	59
6	音楽会、運動会などの学校行事や教科以外の学習活動で、子どもたちの活躍する姿があり、充実していると思いますか。	8 6	8 9	88
7	学校は、子どもたちが健康で安全に生活できる場になるよう取り組んでいると思いますか。	9 0	9 0	82

8	学校は、保護者のみなさまと協力して（PTA 活動等）、学校づくりを進めていると思いますか。	8 2	8 3	78
9	学校は、地域の方（学校・地域ボランティア、JA 青年部や農家、高齢者施設、保育園等）と交流したり、連携したり、外部講師の方をお呼びしたりして学校づくりを進めていると思いますか。	8 8	8 9	79
10	学校では、一人ひとりの子どもに寄り添った相談や支援体制が進められていると思いますか。	7 2	6 4	54
11	「学校だより」「学年だより」「学校フェイスブック」などを通して、学校の教育内容や教育活動がわかりやすく発信されていますか。	8 2	8 6	78

アンケート回答結果から

- ・「質問 1」は、児童アンケートの「質問 1」と重なるものと捉えます。この結果を改めて見直し、一人ひとりの児童に目を向け、思いを受け止め、安心して楽しく学んだり活動したりできる場となるよう努めていきます。
- ・「質問 2」は、割合が下がりました。職員は校内で「学び合い」の授業を公開し、児童の学びについて話し合い、研修を行っています。学習課題に向かって友と共に学ぶ授業を大事にしています。
- ・「質問 3」は昨年同様、保護者の方と児童の捉えの差が大きな項目です。校内での様子は、児童アンケートに記した通りですが、家庭や地域における挨拶については、ご家庭と協力しながら、その大切さやよさを日々子どもたちに伝えていく必要があると考えます。学級懇談会等で話題にし、学校と家庭で共有しながら、引き続き指導を重ねていきたいと思ひます。
- ・「質問 4」は「質問 1」とも関連し、学校の楽しさや協力しあえる集団づくりにおいて、不安を感じていらっしゃる方がいることを真摯に受け止めます。日々の生活や学習、行事など、友だちと協力してつくっていくことのよさが感じられることを大切に、よりよい人間関係を築いていけるよう取り組んでいきます。そのような取り組みを、学校だよりや学年通信、あるいはお電話や懇談会で直接お伝えしてことで、「質問 11」の改善にも繋がると考えます。
- ・「質問 5・10」は年々割合が下がり、大きな課題を感じています。この結果を真摯に受け止め、一人ひとりに合った支援について共に考える姿勢や体制づくりに努めることを職員同士確認しました。また、保護者の方のご意見や要望をお聞きする場として、引き続き、個別懇談会や学級懇談会の時間を大事にしています。
- ・「質問 6」について、児童アンケート「質問 11」に記した通り、児童はめあてをもってよく取り組んでいます。行事に向かったの過程を大事にし、通信等でお伝えしていきます。
- ・「質問 7」について、これまで保護者の皆様にもご協力いただきながら学習環境を整えたり、保健指導の充実を図ったりしてまいりました。生徒指導上の問題が起きた時は、解決するまで丁寧に対応し、子どもたちが互いに心身を大切にして過ごせるよう指導を重ね、安全に過ごせるよう努めていきます。
- ・「質問 8」について、環境整備のご協力をありがとうございます。今後も子どもたちが安全で健康に生活できるよう、保護者の皆様にもご協力いただきながら環境を整えていきます。学級懇談会や P T A の理事会、部会等で出たご意見は、学校づくりに反映させて進めてまいります。
- ・「質問 9」は、児童アンケート「質問 15」に記載したように、今後も積極的に地域に出かけ、地域 P T A の方や外部講師の力をお借りしながら、学校運営を進めてまいります。
- ・「質問 11」の割合が下がりました。活動の取り組みだけでなく、活動のねらいや担任の願い、子どもたちの様子が具体的に伝わるように発信することに努めます。

3 学校関係者（信州型コミュニティスクール（CS）運営委員会）アンケートの結果

※数字は% 肯定評価（「とても思う」・「思う」の合計）

	質 問	R4	R5	R6
1	本校では、一人ひとりの子どもを大切にした教育が行われている。	100	100	83
2	授業改善のための授業研究、各種職員研修、児童の実態に合わせた個別の指導の実践などは	100	8 3	67

	成果を上げている。			
3	本校での健康や安全に関わる指導は、児童の安全で安心な学校生活を保障する上で成果を上げている。	8 3	100	67
4	本校の児童には、仲良く、助け合い、思いやる心が育ってきている。	8 3	8 3	83
5	本校の子どもたちは、日頃から元気に体力作りに取り組んでいる。	3 3	5 0	83
6	校舎内外をご覧いただき、清掃活動や環境整備への取り組みは成果を上げている。	100	100	67
7	音楽会や運動会では、子どもたちは、自分の力を十分に発揮していた。	6 6	100	100
8	本校の子どもたちは、地域の皆様に挨拶をしている。	8 3	6 7	50
9	本校の教育活動は、保護者や地域の方々と連携を取りながら進められ、地域に開かれたものになっている。	100	8 3	67
10	地域の方々や保護者の方が気楽に来校できる機会や、気軽に来校できる雰囲気をつくっている。	8 3	100	33

アンケート回答結果から

- ・音楽会や運動会では、子どもたちの様子を参観していただき、頑張りを認めていただきました。体力作りについては割合が上がり、引き続き外遊びや、体力づくりに努めていきたいと思います。その他、向上を願うご意見もいただきました。今後も、学校・家庭・地域で情報を共有し連携しながら子どもたちの成長を支えていきたいと思います。

4 保護者アンケートの記述欄より

〈学級経営・教職員のあり方に関わって〉

「社会見学や、ICT の授業が多く取り入れられ、様々な経験をさせていただいている」「子どもの様子や不安を共有しながら対応していただいている」「子ども一人一人が輝く場面があってよい」等ご意見をいただきました。子どもたちが楽しく安心して学べる学校・学級となるよう、お言葉を支えにしながら、取り組んでまいります。一方で「児童の目線に立ち、先生の言動を改善してほしい」「一人ひとりの個性を認め、探求心をのばしてほしい」といった、ご指摘やご要望がありました。全職員真摯に受け止め、反省するとともに、子どもたちとの向き合い方や対応について話し合いました。月に2回ほどある学年会では、学級の様子を伝え合い、よりよい支援のあり方を話し合いながら、情報を共有しています。また、全職員で高丘小の子どもたちを知り、関わっていききたいという思いから、1 月中旬より給食時に全担任がローテーションをして、各学年の給食指導を行っています。改善に向けて多くの目で一人一人の子どもや、学級の指導・支援をするといった意識を高めてまいります。

〈支援、サポートに関わって〉

- ・言動の面で指導・支援を必要とするサポート体制に関わるご意見をいただきました。今年度は、昨年度までの支援員の学年配置を取りやめ、必要とする授業に支援員が入るよう配置してきました。まずは、教職員が子どもの声をよく聴くことを心がけ、丁寧に対応していきます。また、支援を必要とする児童は外部機関とも連携し、一人一人にあった支援体制を図ってまいります。お子さんやご家庭のことで相談したいことがあれば、スクールカウンセラーに聞いていただくことも可能です。
- ・授業交換に関わるご意見をいただきました。音楽や家庭科、外国語は専科が授業を行っていますが、来年度はその他の教科でも、授業交換等をして多くの目で児童の学びを支えていきます。期間や学習の内容などは、子どもたちの様子を見ながら進めていきます。担任一人ではなく、職員同士が連携し学習指導を行っています。
- ・宿題の出し方に関わるご意見をいただきました。年度始めに、家庭学習の意義や「学習の手引き」について職員間で共有し、提出後の指導、確認まで学校で丁寧に行っていきます。

〈行事に関わって〉

- ・運動会を1日にしてほしい

→日程や内容については毎年反省をし、子どもたちが学ぶ必要のある運動内容や時間を検討し、改善しながら行っています。ご理解ご協力をお願いします。

- ・音楽会ギャラリーからの撮影ができるようにしてほしいです。

→ギャラリーは観覧席としてではなく、あくまで安全確認のための通路として設計されています。体育館後方からの撮影にご理解ご協力をお願いします。

- ・「行事やクラブ活動を通して、わくわくする学校にしたい、学校・家庭・地域が関わってできることはないか、地域で育つ学校にしたい」といったご意見をいただきました。子どもの育ちのために、熱い思いを感じさせていただきました。保護者や地域の方と意見を交わす場として、学級懇談会や地区懇談会を大切に考えています。主役である子どもを真ん中において、学校・家庭・地域が考え合いながら学校づくりを進めてまいります。

5 全体を通して

アンケートは、児童および保護者、信州型CS運営委員、職員を対象に実施しました。回答項目は5段階評価（「とても思う」「思う」「どちらとも言えない」「あまり思わない」「全くおもわない」）とするとともに、自由記述欄を設け、ご意見ご要望をいただきました。ご協力ありがとうございました。

児童のアンケート結果からは、授業のわからなさや、自分の考えを伝えること、保護者・学校関係者のアンケート結果からは、上記3つの項目について改善していく必要のある内容や状況があることがわかりました。貴重なご意見として受け止め、課題については職員全体で共有し、改善を図りながら日々の学校運営に生かしてまいります。

今後も、学校・家庭・地域で子どもたちを育てる高丘小学校を目指して努力してまいりたいと思います。ご意見やご要望、お気づきのことがありましたら、いつでも学校にお知らせください。今後もご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。